上山2冠 複は父と親子ペアで

一般男子

東北海道バドミントン大会

【北見】バドミントンの第49回東北海道選手権大会（2月1、2日・道立北見体育センター、北見地区バドミントン協会など主催）の一般男子シングルスで上山昇大（帯大谷高を今春卒）が制した。上山は父和成（十勝）と初ペアで挑んだ同ダブルスも勝ち抜き2冠となった。少年の男子は野呂英賢（帯一中2年）、女子は濱下亜美（同今春卒）の帯一中勢が高校生を抑え優勝するなど、十勝勢が18部門中11部門を制した。男子、女子、混合で少年、一般、30歳以上の年代別シングルス、ダブルスを行った。

上山昇大（右）は一般男子単とともに父和成（左）とのペアで同複も制し、2冠とした

【男子】（決勝以外管内関係分）

▽準々決勝▽シングルス▽◇少年
森下翔馬（網走南ケ丘高）2－0 広尾海周（帯大谷高）
佐々木蓮太（帯大谷高）2－1 池田泰輔（帯三条高）
野呂英賢（帯一中）2－0 大野晃汰（網走南ケ丘高）
清水誠（帯大谷高）2－0 林孝恒（帯大谷高）

▽準決勝
佐々木蓮太 2（21－18、21－8）0 清水誠
野呂英賢 2（21－19、22－12）1 佐々木蓮太

▽決勝
野呂英賢 2（21－12、21－20）1 佐々木蓮太

◇一般▽準々決勝
池田侑輝（帯大谷高）2－0 山口吏玖（江陵高）
上山昇大（帯大谷高）2－0 久保遵幸（釧根）
藤原睦月（帯一中）2－0 河北翔太（北見）
砂原泰斗（帯大谷高）2－0 上山和成（十勝）

▽準決勝
上山昇大 2（21－17、18－9）1 藤原睦月
藤原睦月 2（21－1）0 池田侑輝

▽決勝
藤原睦月 2－0 砂原泰斗

◇30歳▽準決勝
山本啓樹（十勝）2－0 對馬直樹（北見）
上山昇大 2（21－17、18－9）1 藤原睦月

▽決勝
山本啓樹 2（21－8、18－0）0 上山昇大

◇ダブルス▽◇少年▽準々決勝
佐々木蓮太・清水誠（帯大谷高）2－0 林孝恒・広尾海周（帯大谷高）
関根一誠・及川令穏（帯工高）2－0 高橋然・宇佐見慧（帯大谷高）

▽準決勝
佐々木蓮太・清水誠 2（21－8、21－18）0 関根一誠・及川令穏
山本啓樹・得能浩志（釧根）2－0 上山和成・河北翔太（十勝・北見）

▽決勝
山本啓樹・得能浩志 2（21－11、21－19）1 佐々木蓮太・清水誠

◇一般▽準々決勝
池田侑輝・砂原泰斗（帯大谷高）2－0 田中翔・棚木悠翔（帯一中）
林・広尾 不戦勝 池田・砂原

▽準決勝
林・広尾 2（21－18、21－11）0 池田・砂原

▽決勝
林・広尾 2（21－18、11－0）0 池田・砂原

◇40歳▽準決勝
工藤晋・工藤大介（釧根）2－0 板矢豊・森政樹（十勝）
南正司・守屋俊秀（釧根）2－0 音川亨・中屋敷亮（釧根）

▽決勝
工藤晋・工藤大介 2（21－18、23－21）1 角花真・森下義記（北見）

◇50歳▽準決勝
村中和雄・矢野徹（十勝）2（21－19、21－15）0 南聖敏・畑山貞男（釧根）
板矢・森 2（21－7、21－11）0 南・守屋

▽決勝
村中和雄・矢野徹 2（21－19、21－15）0 南聖敏・畑山貞男

【女子】◇シングルス▽◇少年

▽準々決勝
石原聡弓（帯大谷高）2－0 金谷心美（帯一中）
江口碧（帯一中）2－0 濱下亜美（帯一中）
中村来未（帯大谷高）2－0 村来那・柏（帯南商高）

▽準決勝
石原聡弓 2（21－16、21－19）0 中村来未
濱下亜美 2－0 濱下・上山伶来（帯一中）
末永萌々歌 2－0 中村来未（帯大谷高）

▽決勝
濱下亜美 2（21－16、19－0）0 石原聡弓

◇ダブルス▽◇少年▽準々決勝
加納聖恵・畏地香菜（帯緑陽高）2－0 井上玲奈・齋藤亜未（網走第三）
中島優衣奈・及川沙来（帯一中）2－0 岡本野々葉（帯大谷高）
奥田梨乃（帯一中）2－0 井上青夏（根室高）

▽準決勝
加納聖恵・畏地香菜 2（21－14、21－16）0 松岡・清水
中島優衣奈・及川沙来 2（21－18、21－11）0 山本貴郎・所和恵（十勝）

▽決勝
加納聖恵・畏地香菜 2（21－18、21－18）0 中島優衣奈・及川沙来

◇40歳▽準決勝
岸雄太郎・宮部清美（釧根）2－0 松岡克好・清水さなえ（十勝）
南・田村 2（21－18、21－18）0 板矢・武田かおる（十勝）

▽決勝
岸・宮部 2（21－14、21－16）0 松岡・清水

◇50歳▽準決勝
板矢豊・武田彰子（釧根）2－0 守屋俊秀・浦瀬恵（釧根）
南正司・田村彰子（釧根）2－0 松原昭美・松村朝実（北見）

▽決勝
板矢豊・武田彰子 2（21－18、21－16）0 松岡・清水

◇一般▽準々決勝
石原・中村 2－1 末永・上山
前多珠希・門脇朱莉（北見北中）2－1 江口・柏村

▽決勝
石原・中村 2（21－15、21－16）0 前多・門脇

◇40歳▽準決勝
林佳奈・境田美穂（十勝）2（21－7、21－10）0 紀・菅原有希（北見・十勝）
森下・舟窪 2（21－15、21－12）0 菅原有希・菊田彩花（北見）

▽決勝
森下梢子・舟窪美（北見）2－0 橋本樹璃・橋本風香（十勝・帯南商高）

◇30歳▽決勝
宮部清美・木下沙織（釧根）2－0 笹慶・川岸理恵（北見・十勝）

▽決勝
宮部・木下 2（21－7、21－15）0 美沼倉由紀・竹林美智子（釧根）

◇50歳▽決勝
浦瀬恵・田村彰子（釧根）2（21－14、21－10）0 武田かおる・中村みゆき（十勝）

【混合】◇ダブルス▽◇30歳▽準決勝
高野拓己・境田美穂（十勝）2－1 太田祐介・渋谷裕貴子（十勝）
澤田佑弥・林佳奈（釧根・十勝）2－1 松原卓也・松原早紀（十勝）

▽決勝
澤田佑弥・林佳奈 2（21－14、21－18）0 岸理恵・川北見・十勝

◇40歳▽準決勝
岸雄太郎・宮部清美（釧根）2－0 山本貴郎・所和恵（十勝）
松岡克好・清水さなえ（十勝）2－0 千葉俊史・松村朝実（北見）

▽決勝
岸雄太郎・宮部清美 2（21－11、18－18）0 高野・境田

少年男子優勝の野呂（帯一中）

少年女子優勝の濱下（帯一中）

ばんえい十勝

アオノブラック圧勝

ポプラ賞 2着はインビクタ

ばんえい十勝は15日、4、5歳馬世代間交流戦の「第41回ポプラ賞」（BG3）を行い、単勝4番人気のアオノブラック（牡4歳、金田勇調教師、西謙一騎手、馬主は札幌市の青山修さん、生産者は釧路管内標茶町の山口和子さん）が先行から独走して圧勝、18年12月のヤングチャンピオンシップ（BG2）以来の重賞2勝目を飾った。タイムは2分1秒4（馬場水分1・7％）。2着は6番人気のインビクタ（同、松井浩調教師、島津新騎手）、3着は3番人気のジェイエース（同、山本正彦調教師、阿部武臣騎手）だった。（大谷健人）

各馬横一線で第1障害を越えると、②アオノブラックが先頭を奪ってレースを進めた。道中は⑨アアモンドグンシン、⑧ジェイエースらと先頭を入れ替えながら進み、ほぼ一団となって第2障害に到着。②、①インビクタ、⑧と障害を先に仕掛け、②が一腰でクリアするとその勢いのまま差を広げ、続いて障害をクリアした①、⑧を寄せ付けなかった。

これまで3歳3冠戦を含む七つの重賞に出走し、すべて3着以内の好走だったが勝利はわずか一つだった。アオノブラックが実力を示した。上の世代を蹴散らす圧勝で「驚くほどに強かった」と金田師は目を丸くした。昨年6月から手綱を取る西騎手もコンビで初の重賞制覇となり、「これまでで一番状態が良かった。やっと勝てて良かった」と喜んだ。

好走の要因について金田師は「3歳3冠戦は強い馬（3冠達成のメムロボブサップ）がいたので意識し過ぎて、馬に疲れを残し調整に失敗した」と天一番に向けた陣営の〝入れ込み〟が敗因だったと振り返る。今走に向けては、世代が上の馬相手のオープン戦で使いながら馬の成長を図ったという。西騎手も「これまではレース中に前に行きたがったが、道中の折り合いも付いて精神面でも大きく成長した」と話す。

驚きの成長を見せたアオノブラック。春からは再び負担重量による馬への影響を考慮して、BG1から同2に格付けを下げる。

先行逃げ切りの圧勝でポプラ賞を制したアオノブラックと西謙一騎手

1年4カ月ぶりの重賞制覇となったアオノブラック（馬の右が金田勇調教師）

〈2020年度のばんえい十勝重賞レース日程〉

▼5月3日＝第14回ばんえい十勝オッズパーク杯（BG2、4歳以上選抜）▼同10日＝第13回カーネーションカップ（BG3、3歳以上牝馬オープン）▼6月21日＝第28回北斗賞（同、3歳以上オープン）▼7月5日＝第14回柏林賞（同、4歳同）▼同19日＝第51回旭川記念（BG2、3歳以上同）▼8月2日＝第45回ばんえい大賞典（BG3、3歳同）▼同16日＝第32回ばんえいグランプリ（BG2、3歳以上オープンファン投票選抜）▼同30日＝第32回はまなす賞（BG3、3・4歳オープン）▼9月20日＝第56回岩見沢記念（BG2、3歳以上同）▼同27日＝第28回銀河賞（同、4歳オープン）▼10月18日＝第43回ナナカマド賞（BG3、2歳オープン）▼11月1日＝第41回北見記念（BG2、3歳以上同）▼同8日＝第45回ばんえい菊花賞（同、3歳同）▼同15日＝第45回クインカップ（BG3、4歳牝馬オープン）▼同29日＝第11回ドリームエイジカップ（同、4歳以上馬齢選抜）▼12月6日＝第45回ばんえいオークス（BG1、3歳牝馬オープン）▼同29日＝第49回ばんえいダービー（同、3歳オープン）▼同30日＝第22回ヤングチャンピオンシップ（BG2、2歳産駒特別選抜）▼2021年1月2日＝第43回帯広記念（BG1、4歳以上オープン）▼同3日＝第14回天馬賞（同、5歳オープン）▼同31日＝新設重賞・名称未定（BG2、3歳牡馬オープン）▼2月7日＝第31回ヒロインズカップ（BG1、4歳以上牝馬同）▼同14日＝第46回黒ユリ賞（BG2、3歳牝馬同）▼同28日＝第42回チャンピオンカップ（同、4歳以上重賞競走優勝馬）▼3月13日＝第42回ポプラ賞（BG3、4・5歳オープン）▼同20日＝第52回イレネー記念（BG1、3歳同）▼同21日＝第53回ばんえい記念（同、4歳以上同）

新年度 重賞レース27競走に

ばんえい十勝を主催する帯広市は8日、新年度の重賞レース実施計画を発表した。今年度より二つ増の27競走を行う。

新たに行う重賞競走は、2008年から新設重賞として実施され10年から特別競走となっていた「カーネーションカップ」が再び重賞に格上げされ春の最強牝馬決定戦として5月10日に実施するほか、来年1月31日には新馬（明け3歳）の牡馬限定のBG2レース（現在名称未定）を行う。

新馬（同）の最高峰レース「イレネー記念」（BG1）は来年3月20日に実施時期を変更、翌21日に行われる古馬の最高峰「ばんえい記念」（同）と連日の開催となり、年度の最終開催を盛り上げる。

これまで7月の開催だった「北斗賞」（BG3、6月21日）は6月に開催時期を移し、3歳以上オープン路線の第1弾レースに位置付ける。4市記念レースの「旭川記念」（7月19日）はBG3から同2にグレードを上げて岩見沢記念、北見記念と同格に。出走馬をファン投票で決める夏の一大レース「ばんえいグランプリ」（8月16日）は、夏の暑さの中で行われるため

フクヒロ初優勝

男子は遠藤、渡辺組が制す

バドミントン

◇全英オープン

15日、英国のバーミンガムで各種目の決勝が行われ、女子ダブルスは世界ランキング3位の福島由紀、広田彩花組（アメリカンベイプ岐阜）が6位の杜玥、李茵暉組（中国）を21－13、21－15で破り、初優勝を遂げた。

女子ダブルスの日本勢優勝は2016年大会の高橋礼華、松友美佐紀組（日本ユニシス）以来。

世界バドミントン連盟は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、16日以降の国際大会を当面開催しない方針。東京五輪出場権に関する新たな措置を後日発表予定だが、女子複の日本勢で獲得ポイントが最も多い福島、広田組の代表入りはほぼ確実な状況。

男子ダブルスで世界ランキング6位の遠藤大由、渡辺勇大組（日本ユニシス）は1位のマルクス・ギデオン、ケビン・スカムルジョ組（インドネシア）に21－18、12－21、21－19で競り勝ち、同種目の日本勢として初優勝を遂げた。遠藤は4度目の決勝で初制覇し、渡辺は2018年大会の混合ダブルスに続く優勝となった。

「万年2位」返上

フクヒロ

金メダルが目標の東京五輪に向け、勢いがつくタイトル獲得になった。福島、広田組が中国ペアを破って念願の頂点に立ち、ありがたくない「シルバーコレクター」の称号を返上。「ずっと2位だったので、越えられてうれしい」。福島は優勝を決めた瞬間にコートにうずくまって喜んだ。

19世紀から続く伝統の大会で手にした勲章に広田は「2人で戦ってきた結果が優勝につながってうれしい」。五輪を前に、大舞台で決勝の壁を乗り越えた意味は大きい。福島は「自信にして、しっかり準備して臨みたい」と本番を見据えた。

中国ペアを破って初優勝した福島由紀（手前）、広田彩花のペア＝15日、英バーミンガム（ロイター時事）

成熟度高め 悲願の頂点

遠藤と渡辺

33歳の遠藤と22歳の渡辺。ほぼ一回りの年齢差があるペアが成熟度を年々高め、頂点に届いた。相手のシャトルがラインを割って勝利を決めると、渡辺はコートに大の字に。天を見上げた遠藤は「特別な大会で優勝。説明できないくらい」。男子ダブルスで日本勢初優勝を果たした達成感に包まれた。

かちまいスポーツ
記録の速報は▼kachimai.mobi
写真がほしい▼0120-25-9410

◇ばんえい競馬　帯広第25回・4日目（14日・晴れ）

						枠連	馬複	馬単	ワイド			3連複	3連単	
1R トマランサジェット	(島津新)	単	230	複⑦	100⑥	130④	130⑥⑦	510⑥⑦	500⑦⑥	960 ⑥⑦	250④⑦	220④⑥	310④⑥⑦	870⑦⑥④	2700
2R ツガルフクムスメ	(西謙一)	単	350	複⑨	140⑧	130②	130⑧⑧	550⑧⑨	570⑨⑧	1220 ⑧⑨	220②⑨	180②⑧	180②⑧⑨	420⑨⑧②	2160
3R ツカサマーチ	(菊池一)	単	920	複⑤	230⑦	170⑧	140⑤⑦	1030⑤⑦	860⑤⑦	2640 ⑤⑦	210⑤⑧	290⑦⑧	170⑤⑦⑧	530⑤⑦⑧	5120
4R シンコーサンデー	(西謙一)	単	4150	複⑤	340②	520⑨	190②⑤	28020②⑤	28750⑤②	61250 ②⑤	2980⑤⑨	2090②⑨	1140②⑤⑨	34130⑤②⑨	219990
5R キンカライト	(阿部武)	単	450	複③	200⑦	160		③⑦	630③⑦	1380 ③⑦	170③⑥	240⑥⑦	250③⑥⑦	630③⑦⑥	3230
6R ホンインボウ	(鈴木恵)	単	330	複⑤	360⑦	300		⑤⑦	1120⑤⑦	2240 ⑤⑦	240④⑤	620④⑦	550④⑤⑦	3530⑤⑦④	13850
7R ジェイウェイ	(藤野俊)	単	510	複①	130④	160⑨	290①④	8140①④	3800①④	7340 ①④	1480①⑨	450④⑨	1720①④⑨	12180①④⑨	76570
8R レットフジ	(松本秀)	単	870	複④	300⑦	150③	200	④⑦	1370④⑦	3130 ④⑦	380③④	550③⑦	200③④⑦	1430④⑦③	15550
9R アポロン	(鈴木恵)	単	290	複⑦	110⑤	100⑧	230	⑤⑦	350⑦⑤	520 ⑤⑦	200⑦⑧	380⑤⑧	540⑤⑦⑧	930⑦⑤⑧	2550
10R マツノタイガー	(赤塚健)	単	3100	複⑧	530⑩	210⑦	120⑦⑧	740⑧⑩	11600⑧⑩	29530 ⑧⑩	2420⑦⑧	730⑦⑩	260⑦⑧⑩	7530⑧⑩⑦	106770
11R カブトゴールド	(西謙一)	単	460	複③	130②	110⑤	190②③	370②③	330③②	820 ②③	170③⑤	530②⑤	280②③⑤	1030③②⑤	4700

▽出走取消（5R）センリョウライアン
▽競走除外（2R）アアモンドアモーレ（11R）アアノブサカノダイヤ
▽売り上げ1億5458万円（水分2・2～2・0％）
◆七重勝単勝式
③⑤①④⑦⑧③
的中なし
キャリーオーバー
◆五重勝単勝式
①④⑦⑧③
3、220、180円
5、560、280円

◇ばんえい競馬　帯広第25回・5日目（15日・晴れ）

						枠連	馬複	馬単	ワイド			3連複	3連単	
1R ゴールドフラック	(阿部武)	単	390	複⑨	140②	120③	180②⑧	300②⑨	530⑨②	1280 ②⑨	410③⑨	460②③	720②③⑨	1060⑨②③	5770
2R カムイダンサー	(長澤幸)	単	250	複①	120⑧	230⑨	170①⑧	320①⑧	1910①⑧	2520 ①⑧	570①⑨	250⑧⑨	580①⑧⑨	1590①⑧⑨	7930
3R コジロウマル	(西謙一)	単	670	複⑧	180④	180②	330④⑦	600④⑧	700⑧④	1420 ④⑧	360②⑧	510②④	410②④⑧	910⑧④②	4870
4R ゴールデンカイザー	(藤野俊)	単	300	複⑥	170③	150		③⑥	420⑥③	800 ③⑥	150④⑥	620③④	440③④⑥	1240⑥③④	4360
5R ギンジ	(鈴木恵)	単	720	複⑤	280①	220②	460①⑤	1130①⑤	1480⑤①	3310 ①⑤	460②⑤	1360①②	1770①②⑤	7980⑤①②	29390
6R ホクショウカップ	(鈴木恵)	単	720	複②	380⑦	180⑤	400②⑦	500②⑦	950②⑦	1630 ②⑦	390②⑤	980⑤⑦	900②⑤⑦	5670②⑦⑤	36720
7R コマサンブラック	(藤野俊)	単	150	複③	100⑧	150②	130	③⑧	460③⑧	580 ③⑧	200②③	400②⑧	1160②③⑧	1170③⑧②	3300
8R ダイリンファイター	(林康文)	単	190	複⑤	130⑦	170		⑤⑦	310⑤⑦	490 ⑤⑦	160①⑤	180①⑦	280①⑤⑦	570⑤⑦①	2000
9R シマノシンザン	(阿部武)	単	1010	複②	250③	220⑥	730②③	13960②③	9460②③	23070 ②③	2070②⑥	1790③⑥	3810②③⑥	30870②③⑥	116840
10R アオノブラック	(西謙一)	単	820	複②	180①	430⑧	150①②	5600①②	6500②①	10960 ①②	1630②⑧	420①⑧	1050①②⑧	5140②①⑧	40530
11R セナカ	(船山蔵)	単	390	複⑥	130③	130⑧	100③⑥	760③⑥	990⑥③	1540 ③⑥	270⑥⑧	250③⑧	240③⑥⑧	450⑥③⑧	4360

▽売り上げ1億6424万円（水分1・9～1・7％）
◆七重勝単勝式
⑤②③⑤②②⑥
的中なし
キャリーオーバー
◆五重勝単勝式
③⑤②②⑥
276、290円
8、848、680円

※競馬の出走表・成績は主催者発行のものと照合・確認してください

メムロボブサップとのライバル対決が注目される。「あの馬はやっぱり強い。簡単に勝てる相手じゃないよ」と謙遜して話す金田師の目には確かな勝算が浮かんでいた。